



第3セクター SL通年運行

毎週土曜日、日曜日、そして祝日と1年を通じて1日1往復、茨城県下館駅と栃木県茂木駅間を運行しています。夏休みの期間は金曜日も運行しています。

特集

日本一

- 第3セクター
SL通年運行 ①
- 真岡の苺 ③
- 高田山専修寺 涅槃像 せんじゆじ ねはんぞう ⑦
- 長蓮寺弁財天半跏像 べんざいてんはんかぞう ⑧
- 日本一 えびす様 ⑪

真岡市を知る

- 歴史が息づく技術を今に受け継ぐ
真岡もめん ④
- 日本の夏祭り百選
真岡の夏まつり ⑤ ⑥
- 満開、圧巻 感動に出会う
真岡の桜まつり ⑤ ⑥
- 文化財探訪 ⑦ ⑧
- 郷土に生きる尊徳の教え
二宮尊徳 ⑨ ⑩
- 歳時記・花ごよみ ⑨ ⑩
- 感動体験紀行 ⑪ ⑫
- 真岡路を歩く ⑬
- アクセスマップ ⑭



安らぎと潤いのまち 真岡市 大きな夢と希望を乗せて...

SLが走るまち真岡

真岡線は日本で最初のローカル線として明治45年に誕生し、JRを経て第3セクターの真岡鐵道に引き継がれた鉄道です。現在も高校生の通学をはじめ2市4町を結ぶ大切な生活路線として、活躍しています。
SLは、21世紀を担う子供たちが「夢とロマン」を育むことを目的に運行開始されたもので、現在真岡線を守るSLは2両。
「C1266」は、指宿線や石巻線、小海線などで、「C11325」は、相模線や南武線、横須賀線などで活躍したSLです。



C11形

C11325は、昭和21年に製造されたSLです。(全長12.6m、重量68t)新潟県水原町(現阿賀野市)で保存されていたが、真岡市が平成8年3月に譲り受け、復元修理の後、平成10年11月に運行を開始しました。真岡線での運行のほか、JRに貸し出されて、只見線や左沢線、石巻線などで活躍しています。

C12形

C1266は、昭和8年に製造されたSLです。(全長11.4m、重量50t)平成3年に福島県川俣町で保存されていたものを、芳賀地区広域行政事務組合が譲り受け、復元修理の後、平成6年3月に運行を開始しました。またこのSLは、平成11年に放送された遠野風子さん主演のNHK連続テレビ小説「すずらん」で使用され、北海道で雪原を走る雄姿を披露しています。



SLキューロク館

真岡駅東口に平成25年4月に開館したSL展示施設。日本全国で活躍した、大正時代を代表する9600形蒸気機関車(愛称:キューロク)が展示されており、土日祝日には、1日3回圧縮空気です走るキューロクを見ることが出来ます。施設内に「キューロクカフェ」があり、館内や客車(スハフ44形)の中で軽食を楽しむことができます。

SL9600形(49671号機)

49671号機は、大正9年に川崎造船所で製造されて以来、ずっと北海道の機関区で活躍し、昭和51年に廃車された後、同年11月真岡駅まで回送、井頭公園に移設され、静態保存されていました。平成23年12月にJR東日本より真岡市に無償譲渡され、平成25年4月、圧縮空気を動力源として、走行させるようになりました。この49671号機は、右側に運転台がある珍品です。製造当初は、他の機関車同様左側に運転台がありましたが、五稜郭〜有川橋の航送の入換線が極度の右カーブで、通常の運転席では、全く死角になるとの理由から右運転台に改造されました。



◎SLキューロク館
真岡市台町2474番地6
TEL 0285-83-9600
午前10時〜午後6時
休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12/29~1/3)
<http://www.moka-railway.co.jp/96kan/>

©真岡鐵道株式会社
真岡市台町2474番地
TEL 0285-84-2911
<http://www.moka-railway.co.jp>

真岡鐵道真岡駅の駅舎はSLをデザインしたもので関東の駅百選に選ばれています。▲